



発見！ちょっと気になるまちの人

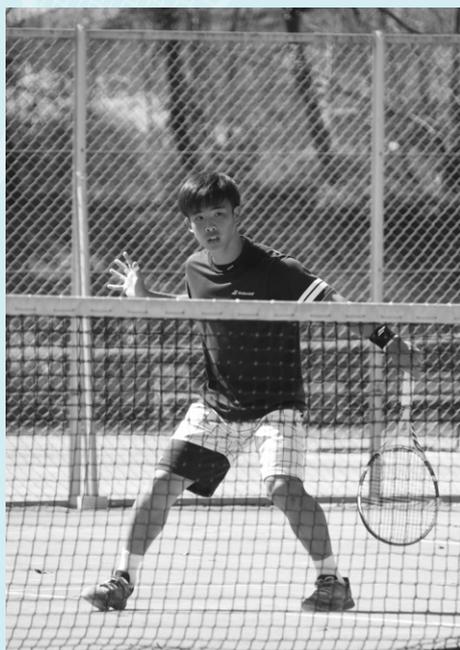


プロテニスプレイヤー 齋藤 恵佑 選手

伊奈町出身。19歳。

小・中学校時代を伊奈町で過ごし、高校卒業と同時にプロテニスプレイヤーとしてデビュー。

ジュニア時代には、全豪オープン、全仏オープン、ウィンブルドンの各ジュニア大会に出場。2018年には世界スーパージュニアテニス選手権大会で優勝をするなど、華々しい結果を残し、満を持してのプロデビューとなった。



◆テニスを始めたきっかけと道のりについて

僕が4歳の頃、父にラケットを買ってもらったのがきっかけです。本格的に始めたのは小学校に入ってからですね。その頃からプロの試合を観戦したりしていましたが、自分がプロになるというのは正直思っていませんでした。「プロになりたい」というよりは「強くなりたい」と考えていて、その時々目標に向かって取り組んだ結果が「プロになる」という事だったと思っています。

高校を卒業する時期になって、プロになるか、大学へ進学しながらテニス続けるか、かなり悩みました。大学へ進学すると4年間はプロツアーに出場できなくなってしまうんです。それはプロとしての選手生命を4年間短くしてしまう事になると思い、周囲と相談して高校を卒業してプロになることを決めました。

◀プロ選手の中では小柄ということですが、鋭いボールが打ち出されていました！

◆今までで一番記憶に残っている試合は？

2018年に大阪で開催された「世界スーパージュニア選手権」の決勝戦です。その大会はノーシードでの出場だったので、決勝まで進めるとは思っていませんでした。普段はあまり緊張しない僕ですが、優勝を決めるマッチポイントの時には大勢の観客から手拍子が起きて、その時ばかりはサーブを打つ手が震えてしまいました。この大会で優勝したことによりジュニア世界ランキングが一気に30位くらいまで上がってウィンブルドンなどのジュニア世界大会にも出場できるようになりました。そのような大会では大人の選手と控室が一緒なので、有名選手を近くで見た時は嬉しかったですし、良い経験になりました。



伊奈町役場でインタビューに答えてくれました。▶



◆プロになって変わったことは？

ガラッと環境は変わりました。海外遠征に行くにしても、ジュニアの頃はコーチに帯同してもらっていたのですが、今は全部一人でやらないといけません。遠征費用も年間で何百万円もかかってしまうので、スポンサーを探したりする必要があります。現在スポンサー募集中です！（笑）

◆今後の目標を教えてください！

短期的な目標としては、世界ランキングを300位以内に上げることです。それでもいくつかの大会で優勝しないといけないので大変ですが…。長期的な目標としては、そのランキングで10位以内に入ることです！フェデラー選手やナダル選手といった有名選手に勝つことを目標としています。特にフェデラー選手は小さい頃からの憧れでもあるので、引退してしまう前に試合がしたいと思っています。

◀伊奈町出身のプロテニスプレーヤー。みなさん応援よろしくお願いします。



▲齋藤選手
Instagram